

# Studyaid<sup>DB</sup> information vol.17

新課程における Studyaid<sup>DB</sup> の、データ基本コンセプトは

あらゆる場面でプリント作成

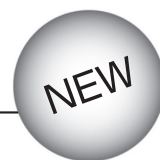
そのため、データベースの種類が

中学版 教科書版 問題集版 参考書版 入試版  
の5系統に広がります。

そして、2002年版のシステム基本コンセプトは

より便利に より美しく

今号は、2002年版の改良点を、表にまとめてご案内いたします。  
ショートカットキーの一覧と合わせてご利用下さい。



2002 新機能・改良点		
データ ベース 機能	画面全般	ボタンの色やアイコン（絵文字）を工夫して、よりわかりやすく、そして操作しやすくしました。
	検索	タイトル検索において、以前に指定した文字列の履歴を表示するようにしました。
	結果一覧	ランダム検索機能を追加。 選択する問題数を決めるだけで、コンピュータがランダムに問題を選択します。その際、過去に使った（印刷／プリント保存した）問題を除くことも可能です。
		問題タイトルを、大きな文字で見やすく表示するようにしました。
		問題情報と印刷履歴を別画面にしました。今までよりも大きく表示されますので、更に見やすくなっています。
	スタイル（全般）	答のみ、答＋解説 のレイアウトも可能にしました。
		レイアウトイメージ表示が、更にわかりやすくなりました。 表題、名前欄表示などの設定までイメージ表示されます。
	表題・名前欄	以前指定した表題・名前欄の履歴がリスト表示されるようになりました。 よく使う表題は、リストから選ぶだけで済みます。
	レイアウト	改ページ・改段機能によって、問題の配置がより簡単になりました。
		表題・名前欄だけでなく、問題タイトルもレイアウト画面上で編集できるようになりました。問題タイトル部分を問いかけ文に書き換えたり、配点を書き添えたりするなど、用途に合わせてご利用ください。
複数の問題を1つの問題に統合して、内容編集できるようになりました。 小問をまとめた計算問題などの作成に大変便利です。		
選択問題一覧	レイアウト画面上でできる操作が、選択問題一覧の画面でもできるようになりました。	
印刷	解説を空欄にした印刷が可能になりました。	
	印刷イメージを改良し、更にわかりやすくしました。	
その他	作成したユーザー問題が Web MATH-ter で読み込めるように、Studyaid <sup>DB</sup> 2001形式でのユーザー問題保存機能を追加しました。	

2002 新機能・改良点		
エ デ イ タ 機 能	数式	数式の見映えが更に美しくなりました。 分数の指数や、累乗の累乗などの文字位置バランスを改良しました。
		10ポイントの { } が画面上でも同じように見えるようになりました。
		BOXについて、入力した後もBOXサイズが変更可能になりました。
		ショートカットキーの割り当てを増やし、できるだけマウスに持ち替えずにキーボードから入力できるようにしました。 → ショートカットキーの一覧参照
	図形編集	複数の図形を整列する機能（右揃え、左揃え、上揃え、下揃え、など）を追加しました。
	文章	文字属性に、枠囲みを追加しました。
	作図	線分マーク、平行マークを追加しました。 図形の辺上や円弧上にクリックするだけで、マークがつけられます。
		作成時の自動位置合わせにおいて、図形頂点だけでなく、辺上への自動位置合わせも可能になりました。
		直線コマンドの作成オプションに、「水平・垂直に限定」を追加しました。 縦・横にまっすぐな線が描きやすくなりましたので、四角形や直線で簡単に表が描けます。
		三角形・四角形・多角形の1辺の計測について、長さマークが必ず外側につくように改良しました。
部品	中学版には、正多面体などの複雑な立体図形や、イラスト的なもの（マッチ棒、さいころなど）を、部品として収録しました。	

### ●ショートカットキーの一覧●

問題作成エディタでは、文章・数式・図形編集の状態の切り替えや、代表的な数式パターンの入力について、それらがキーボードだけですばやく行えるように、ショートカットキーを割り当てています。

以下の表で、例えば、「Ctrl+T」は、Ctrlキーを押しながらTキーを押すことを表します。

次の表は、各操作に対するキー割り当ての一覧です。

操作	キー割り当て
文章入力状態に切り替える	Ctrl+T
図形編集状態に切り替える	Ctrl+E
選択した文字列・数式・図形をコピーする	Ctrl+C
選択した文字列・数式・図形を切り取る	Ctrl+X
文字列・数式・図形を貼り付ける	Ctrl+V
直前の操作をもとに戻す	Ctrl+Z
文字列を検索する	Ctrl+F
新しく数式を入力する	Ctrl+M
数式を再編集する	数式の前後にキャレット( )がある状態で Ctrl+→ または Ctrl+←

次の表は、代表的な数式パターンへの入力に対するキー割り当ての一覧です。

数式パターン	キー割り当て	数式パターン	キー割り当て
$\square^\square$	Ctrl+^ (へ)	$\overrightarrow{\square}$	Ctrl+W
$\square_\square$	Ctrl+] (む)	$\overline{\square}$	Ctrl+Alt+W
$\square^\square_\square$	Ctrl+Alt+^ (へ)	$ \square $	Ctrl+¥
$\square_\square_\square$	Ctrl+Alt+] (む)	$[\square]$	Ctrl+Alt+[
$\frac{\square}{\square}$	Ctrl+ / (め)	$f(x)$ 選択画面	Ctrl+Alt+G
$\sqrt{\square}$	Ctrl+R	$\log \square$	Ctrl+L
$\sqrt[\square]{\square}$	Ctrl+Alt+R	$\log_{\square}\square$	Ctrl+Alt+L
$\sin \square$	Ctrl+H	$\sin \square^\square$	Ctrl+Alt+H
$\cos \square$	Ctrl+J	$\cos \square^\square$	Ctrl+Alt+J
$\tan \square$	Ctrl+K	$\tan \square^\square$	Ctrl+Alt+K
$\int \square$	Ctrl+I	$\int \square^\square$	Ctrl+Alt+I
$\sum \square$	Ctrl+G	$[\square]^\square$	Ctrl+[
$\lim_{\square \rightarrow \square} \square$	Ctrl+U		
$\square \square$	Ctrl+B	$\square \square$	Ctrl+Alt+B
$\left( \begin{array}{cc} \square & \square \\ \square & \square \end{array} \right)$	Ctrl+D	$\left( \begin{array}{c} \square \\ \square \end{array} \right)$	Ctrl+Alt+D
$\left\{ \begin{array}{c} \square \\ \square \end{array} \right.$	Ctrl+Y	$\left\{ \begin{array}{c} \square \\ \square \\ \square \end{array} \right.$	Ctrl+Alt+Y
$\leq$	Ctrl+, (<)	$\times$	Ctrl+: (け)
$\geq$	Ctrl+. (>)	$\div$	Ctrl+Alt+ / (め)
$\neq$	Ctrl+- (ほ)	$\pm$	Ctrl+; (れ)
$\pi$	Ctrl+@	$\theta$	Ctrl+Alt+@
$^\circ$ (度)	Ctrl+Alt+. (>)		